

令和2年お茶づくり技術情報 (No.7)

2020年(令和2年)4月20日
佐賀県茶業技術協会
佐賀県茶業試験場

1. 気象と生育

1) 生育状況(茶業試験場内作況調査ほ場)

表1 作況調査園の芽長と開葉数

調査日		4月5日	4月10日	4月15日	4月20日
芽長 (cm)	本年	1.33 ± 0.36	2.09 ± 0.57	3.39 ± 0.75	5.55 ± 1.01
	前年	1.28 ± 0.34	2.82 ± 0.61	4.56 ± 0.79	7.75 ± 1.05
開葉数 (枚)	本年	0.28 ± 0.25	1.08 ± 0.45	1.70 ± 0.42	2.48 ± 0.34
	前年	0.45 ± 0.32	1.38 ± 0.45	2.41 ± 0.41	3.36 ± 0.39

注1) 品種: やぶきた 樹齢: 19年生

注2) 一番茶萌芽日: 2020年3月27日(前年より1日、前3か年平均より7日早い)

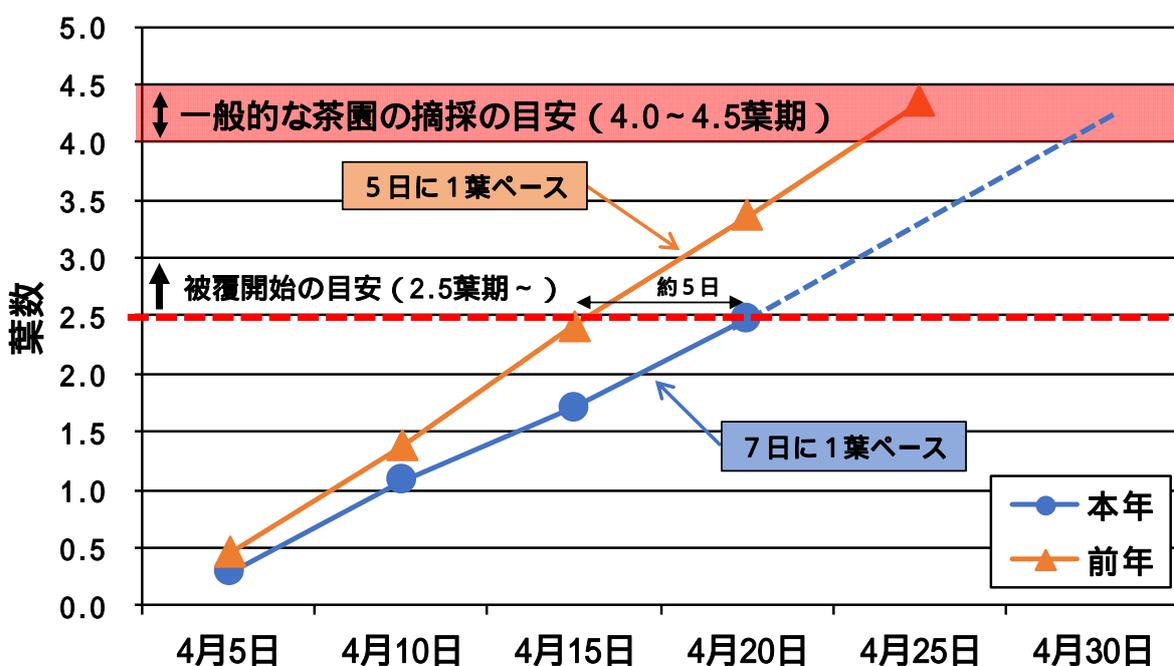
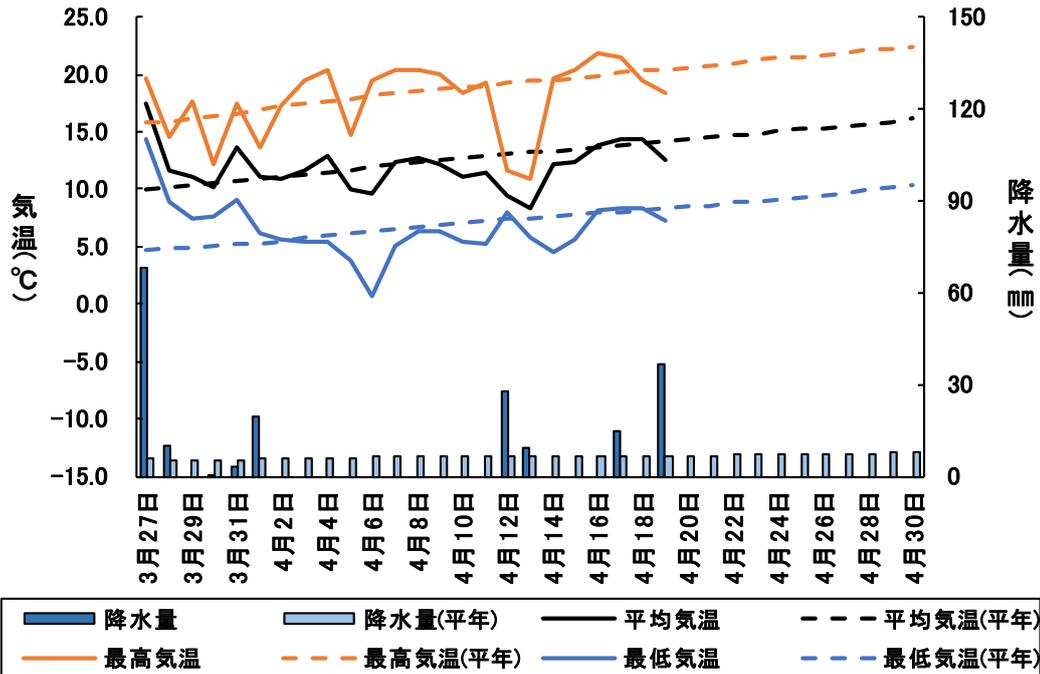


図1 作況調査園における開葉数の推移と今後の生育予測

注) 4月20日以降は予測推定値(破線部分)

- (1) 萌芽後、4月20日時点での生育は、芽長は前年より短く(-2.20cm)、開葉数は前年より少なく(-0.9枚)、生育は前年より遅れている(表1)。
- (2) 萌芽は前年より1日早かったが、葉の展開は、4月20日時点で前年より約5日間遅れている。また、1葉展開する速さも前年より遅い(図1)。
- (3) 生育が遅れた要因として、新芽の初期生育期間中、前年より気温が低く推移したことが考えられる。
- (4) さらに、4月21~27日にかけて低温となることが予想され、今後も生育が緩慢となると考えられる。4月中に被覆を予定している茶園では被覆を焦らず、生育状況を確認し、2.5~3.0葉期を目安に被覆するようにする。また、摘採直前に開葉数など生育状況を確認し、摘採を判断する。

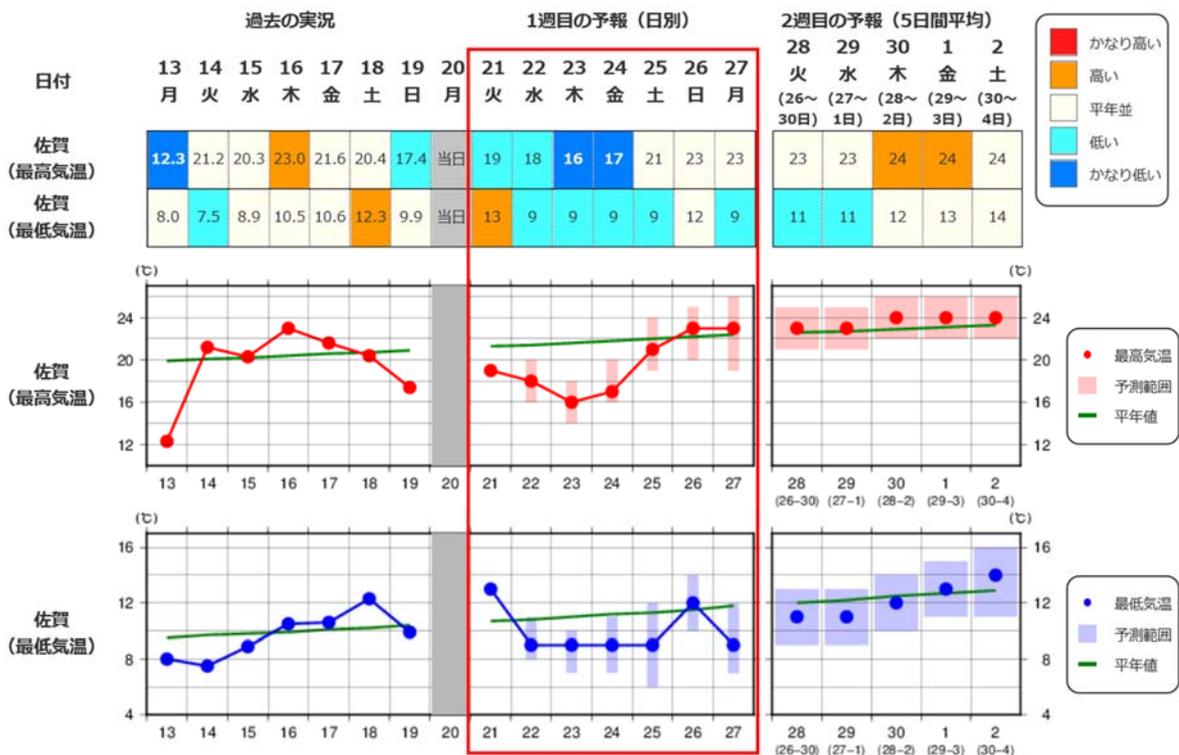
2) これまでの気象 (一番茶萌芽後)



- (1) 一番茶萌芽後の気象は、平均気温は平年より低く推移した。
 降水量は、萌芽期の前後(3月26~28日)にまとまった降雨(合計105mm)があったが、4月1日(19.5mm)以降、4月11日までの10日間降雨がなかった。その後は、適度な降雨が続いた。

3) 今後の気象の見通し

■ 2週間気温予報 (気象庁、2020年4月20日 17:00 更新)



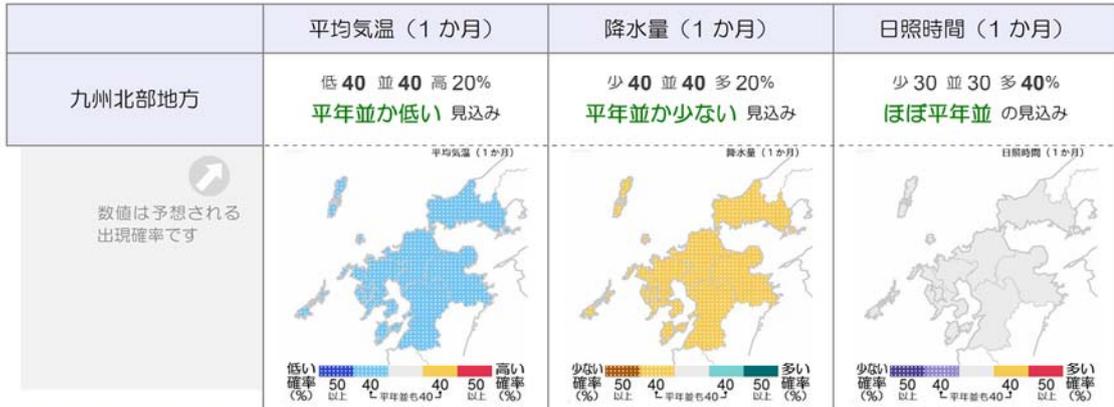
- (1) 今後2週間の気温は、21日から27日にかけて平年より低い、あるいはかなり低くなる予報となっている。

■ 1か月予報（気象庁、令和2年4月16日発表）

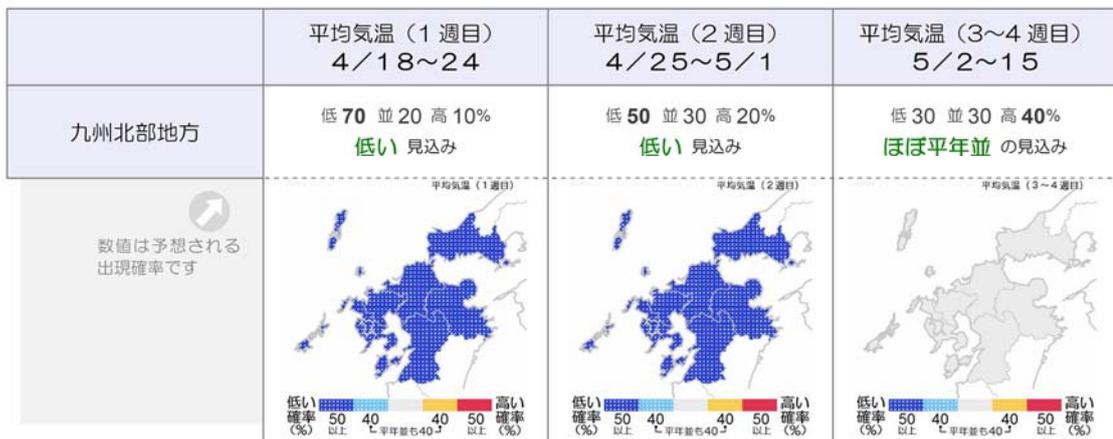
向こう1か月の天候の見通し
九州北部地方（4月18日～5月17日）

福岡管区气象台

1か月の平均気温・降水量・日照時間



週別の平均気温



(1) 向こう1か月（4月18日～）の天候は、寒気の影響を受けやすいため、平均気温は平年より低く、特に期間のはじめ（4月18～24日）は気温がかなり低くなる見込み。降水量はほぼ平年並か少ない見込みである。

2. 今後の管理

1) 病害虫防除

病害虫防除については、『令和2年度佐賀県施肥・病害虫防除・雑草防除のてびき』を参照してください。